	5	チェック項目 利用定員が指導訓練室等ス		いいえ	国の定めた基準以上の広さを確保し、スペー	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	ペースの関係で適切である	7		スは利用児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。 国の定める配置基準では、事業所に児童発達	
	2	職員の配置数は適切である	7		管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっておりその基準を厳守しております。また、個別療育や専門性をいかした療育もおこなっております。	
	3	生活空間は、本人にわかり やすく構造化された環境に なっているか。 また、障がいの特性に応じ、 事業所の設備等は、パリア フリー化や情報伝達等への 配慮が適切になされている	7		利用児童の特性に合わせ、写真や掲示物等で 視覚的に分かりやすい表示にしております。 室内は段差が少なく、おおむねバリアフリー になっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、児童たちの活動に合わせた空間となっている	7		毎日療育室、集団スペースの清掃や・手作り 教材や玩具の消毒を徹底しておこなっており ます。 その日の利用児童の状況に応じて個別・集団 の部屋の使い分けを明確にしております。	
業務改善業務改善	5	業務改善を進めるための PD CA サイクル(目標設定と振 り返り)に、広く職員が参画 している	7		その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。 また月1回リフレクション会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるようにしております。	
	6	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		アンケート調査を実施し保護者様からのご意見やご要望に関しては、全職員で周知・検討をし、できる限り迅速な対応ができるよう心がけております。 集計内容を職員間で共有しながら保護者様のご意向に添うよう取り組みをおこなっております。	
	7	事業所向け自己評価表及び 保護者様向け評価表の結果 を踏まえ、事業所として自 己評価を行うとともに、そ の結果による支援の質の評 価及び改善の内容を、事業 所の会報やホームページ等 で公開している	7		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開していきます。
	8	第三者による外部評価を行 い、評価結果を業務改善に つなげている		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討 課題として検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うた めに、研修の機会を確保し ている	7		事業所内では、本社配信の動画による社内研 修に全職員が参加し、資質向上に努めており ます。	
関係機関や保護者様	10	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		児童発達支援管理責任者が中心となって利用 児童の現状に合った支援計画を作成し、その 都度見直しをおこなっております。 また関係機関との連携をはかり、利用児童の 現状や変化を踏まえ、方向性を考慮したうえ で作成をおこなっております。	
	11	児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		社内共通様式で標準化されたアセスメント シートを使用しております。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		保護者様のご意向や利用児童の特性を十分に 考慮し、適切に選択するようにしております。 またさまざまな情報も加味したうえで児童発 達支援ガイドラインをふまえ、より具体的な 支援内容の充実をはかっております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		利用児童への直接支援は支援計画にそっておこなわれるように支援会議で共通認識、共通理解をはかっております。 また利用児童の状況等に合わせた具体的な支援内容の検討や変更を定期的におこなっております。	
	14	活動プログラムの立案をチー ムで行っている	7		児童発達支援管理責任者や支援担当者の全員がチームとなってプログラムを立案しております。 立案の際には役割分担を明確にしてチームで協力しながらおこなっております。	
	15	活動プログラムが固定化し ないよう工夫している	7		常に楽しく活動できるよう工夫しております。 全体的には季節に合わせた活動を企画したり、利用児童が意欲的に取り組めるよう、利用児童の意向を把握しながら工夫や検討をおこなっております。	
	16	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7		個別療育を基本とし、集団活動も取りいれた 利用児童の特性に応じた支援計画を作成して おります。 また、支援計画作成で重要視しているのは、 その利用児童に必要な活動内容であるのかを 十分に勘案することだと考えております。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎日の職員間での打ち合わせにて、その日の 役割分担や環境設定をおこなっております。 参加できない職員には議事録を作成し、閲覧 してもらうことで、情報共有の徹底につとめ ております。	
	18	支援終了後には、職員間で 必ず打合せをし、その日行 われた支援の振り返りを行 い、気付いた点等を共有し ている	7		支援終了後には全員での打ち合わせが難しい場合もありますが、支援内容の振り返りをおこない、情報共有をしております。 その中で、気づいたことは意見を出し合い、成果に繋がりそうなことや、支援に工夫が必要なことを見つけて、次の支援に取り入れるようにしております。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		毎日支援経過記録を取り、毎週末ごとに見直しをおこなっております。 記録の取り方に関しては、全職員が同じレベルで検証・改善を項目に入れた記録がとれるようにつとめております。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見 直しの必要性を判断してい る	7		定期的なモニタリングによって児童の状況や 課題などを確認し、保護者様のご意向をふま えた児童発達支援計画の作成と見直しをおこ なっております。	
	21	障害児相談支援事業所の サービス担当者会議にその 児童の状況に精通した最も ふさわしい者が参画してい る	7		対象児童について、事前に職員間で話し合い、現況把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と 連携した支援を行っている	7		サービス担当者会議参加や関係機関への定期 的な訪問等をおこない、情報交換や共有をお こなっております。 家庭支援を行う際は関係機関と連絡を取り合 い、おこなうようにしております。	
	23	(医療的ケアが必要な児童 や重症心身障がいのある児 童等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福 祉、保育、教育等の関係機 関と連携した支援を行って いる		7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望だあった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制事業所のあり方について模索してまいります。
	24	(医療的ケアが必要な児童 や重症心身障がいのある児 童等を支援している場合) 児童の主治医や協力医療機 関等と連絡体制を整えてい る		7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制事業所のあり方について模索してまいります。
	25	移行支援として、保育所や 認定こども園、幼稚園、特 別支援学校(幼稚部)等と の間で、支援内容等の情報 共有と相互理解を図ってい る		7	定期的に担当者会議や送迎時での情報交換を おこなっております。 保育所や認定こども園、幼稚園の入園前には、 訪問、見学させていただき、情報を共有し、 連携を深めております。	
	26	移行支援として、小学校や 特別支援学校(小学部)と の間で、支援内容等の情報 共有と相互理解を図ってい	7		入学前には必ず支援会議や小学校の見学等を おこなっております。 また学校関係者様をお招きして、対象児童の 療育の様子や現在の状況、特性等をおつたえ	



27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

いる

非

常 時 等

の

対

応

る

している

意している

保

護

者

様

^

の 説

明

責

任

等

いる

る

ている

他の児童発達支援センター

や児童発達支援事業所、発

達障害者支援センター等の

専門機関と連携し、助言や 研修を受けている

保育所や認定こども園、幼

稚園等との交流などの外部

の児童と活動する機会があ

(自立支援)協議会子ども

部会や地域の子ども・子育

て会議等へ積極的に参加し

日頃から児童の状況を保護

者様と伝え合い、児童の発

達の状況や課題について共

保護者様の対応力の向上を

図る観点から、保護者様に

対して家族支援プログラム

(ペアレント・トレーニング 等) の支援を行っている

運営規程、利用者負担等に

ついて丁寧な説明を行って

児童発達支援ガイドライン の「児童発達支援の提供す

べき支援」のねらい及び支 援内容と、これに基づき作

成された「児童発達支援計

画」を示しながら支援内容

の説明を行い、保護者様か ら児童発達支援計画の同意

定期的に、保護者様からの

子育ての悩み等に対する相

談に適切に応じ、必要な助

父母の会の活動を支援した

り、保護者会等を開催した

りするなどにより、保護者

様同士の連携を支援してい

子どもや保護者様からの相

談や申入れについて、対応

に、児童や保護者様に周知

し、相談や申入れがあった

場合に迅速かつ適切に対応

定期的に会報等を発行し、

活動概要や行事予定、連絡

体制等の情報を児童や保護

者様に対して発信している

個人情報の取扱いに十分注

障がいのある児童や保護者

様との意思の疎通や情報伝

達のための配慮をしている

事業所の行事に地域住民を

招待する等地域に開かれた

緊急時対応マニュアル、防 犯マニュアル、感染症対応

マニュアル等を策定し、職

員や保護者様に周知すると

ともに、発生を想定した訓 練を実施している

非常災害の発生に備え、定

期的に避難、救出その他必

要な訓練を行っている

事前に、服薬や予防接種、

況を確認している

てんかん発作等の児童の状

食物アレルギーのある児童

について、医師の指示書に

ヒヤリハット事例集を作成

して事業所内で共有してい

虐待を防止するため、職員

の研修機会を確保する等、

どのような場合にやむを得 ず身体拘束を行うかについ

て、組織的に決定し、児童

や保護者様に事前に十分に

説明し了解を得た上で、児

童発達支援計画に記載して

適切な対応をしている

基づく対応がされている

事業運営を図っている

の体制を整備するととも

言と支援を行っている

を得ている

通理解を持っている

7

7

7

7

7

7

7

7

7

7

7

7

7

7

7

7

7

7

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

7

7

7

専門機関や関係機関へは合同研修や会議を通

また、療育スキルの向上のため他事業所様主 催の研修にも積極的に参加させていただいて

中津市障害者自立支援協議会・こども部会委

員に入り、定期的におこなわれている部会に

送迎時や連絡帳にて、その日の療育内容や利

用児童の様子を伝えて情報共有につとめてお

連絡帳には保護者様より療育に繋げられるよ

う、ご家庭での困りごと等を書いていただい

送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困り

ごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援

方法などをその都度お伝えするように努めて

また療育上必要でご家庭での協力が仰げるも

のはご提案し、可能な範囲で取り組んでいた

保護者様に分かりやすいように丁寧な説明を

それ以降もご要望がある場合には、その都度

ガイドラインに基づいて支援計画を作成して

保護者様へは支援計画の内容を示す中でわか りやすい言葉を使って計画の同意を得ており

連絡帳や送迎時に保護者様から子育てのお悩 み等を聞き、保護者様のお気持ちに寄り添え

るよう、その都度適切なアドバイスをさせて

また、保護者様のお悩みやお困り等は全職員

で情報共有し、誰もが適切に答えられるよう

現時点では企画は実施しておりません。

ご説明をおこなっております。

苦情へのご相談窓口も設けており、契約時に

また児童発達支援管理責任者や管理者が対応

するだけではなく、送迎時や来所時に保護者

様や利用児童から相談を受けた際には、しっ

かりと相談内容を受け、職員全員で共有し、 迅速に対応できる体制を整備しております。

公式 Web サイトでの情報を発信しており、

「COMPASS 便り」を季刊発行してお配りし

個人情報の記載のある重要書類は施錠ができ る書庫にて保管し取り扱いには十分配慮して

情報使用時には必ず保護者様に同意を得てお

個々に合わせた絵カードや写真等、情報伝達 ツールを作り、分かりやすく情報が伝達でき

保護者様とはご相談やお話をしやすい関係性

を築いていけるよう日頃からの関係性構築に 工夫をし、お互いの情報がスムーズに交換し

現時点では事業所行事に地域の方々をご招待

各種マニュアルを策定すると共に、事業所内

さまざまな災害を想定し、どのような状況で も対応できるよう計画を立て、その中で職員

の役割分担を決め、最低年4回避難訓練を実

また高潮・浸水の避難訓練を実施後、中津市

標準化されたアセスメントツールを使用し

また、連絡帳などを通して状況の変化も確認

指示書がある利用児童については保護者様と

情報共有をおこない、初期アセスメントでの

聞き取りの徹底、医師の指示に基づいた対応

を全職員が周知のうえ、適切な対応につとめ

ヒヤリハットはほんの少しの油断から起こり える事象なので、少しでも「ヒヤリ」とした 場合には報告書を作成するようにしておりま

特に重要なのは原因究明と再発防止なので必 ず職員間で話し合いをおこない、共通理解を はかり事前の事故防止につとめております。

社内に虐待防止委員会を設置し、事業所内研

修や外部研修に参加し、認識を深めておりま

利用契約書に原則として身体拘束の禁止を記

載していますが、やむを得ず必要となる場合

については、保護者様の承諾を得て支援計画

に記載するようにしております。

に訓練状況を提出しております。

て、状況の把握に努めております。

させていただいております。

施しております。

ております。

す。

に提示して保護者様にご案内させていただ

き、定期的な訓練も実施しております。

保護者様にもお知らせしております。

また「子どもカレンダー」を毎月、

ております。

おります。

ります。

るようにしております。

合えるようにしております。

する企画は実施しておりません。

保護者様のご意向も伺ったうえで交流機会を

検討し、当事業所への理解を深めていただけ

COMPASS が子育ての情報交換の場として

も大いに利用していただける事業所でありた

いと考え、保護者様のご意見をうかがいなが

目標として、地域に開かれた事業運営を目指

していますので、保護者様のご意向をうかが

いながら地域への働きかけを検討してまいり

ます。

ら交流の機会を検討してまいります。

るようにつとめてまいります。

じて助言をいただいております。

現時点では交流機会はございません。

必ず参加させていただいております。

しております。

おります。

ります。

ております。

おります。

だいております。

おこなっております。

対応しております。

いただいております。

にしております。

おります。

ます。